



本田さん(左)と三浦さんが丹精込めて作った「Uchimaruプチガーデン」

散歩で通りかかる近所の人も「きれいだね」と声を掛けてくれる。今は、もともと植えてあったツツジがピンク色の花を咲かせ、一層華やかな雰囲気だ。

節の花々を寄せ植えし、訪れる人の目を楽しませている。同病院事務課長の本田満さん(35)と事務部総務課の三浦睦未さん(47)が、5月初旬から整備した。これまで手が加えられていなかった正面玄関脇の6平方メートルほどのスペースに、キンギョソウ、デージー、マーガレットなどカラフルな草花を植栽。2人の奮闘ぶりに、患者の家族らが自宅の庭に咲く花や種のお裾分けを申し出るなど思いがけない交流も生まれた。

プチガーデンお目見え 院内 玄関前に職員が整備

盛岡市本町通一丁目 の内丸病院(富澤勇貴院長)の玄関前に、季節(うちまる)プチガーデンがお目見えし、

唯一の悩みは、せっかく植えた草花を、こつそり持ち去る不届き者がいること。「奪うなら私のハート奪ってよ!」とひねりのきいた立て札で善意に訴えている。

「誰もが来やすい病院づくりを心掛けています。治療に来た方や近所の方の気持ちを少しでも癒やせれば。心のオアシスになってほしい」と本田さん。三浦さんも「病院の前で送迎を待つお年寄りのためのベンチも設置したい。交流の場になってくれればうれしい」と意欲を燃やしていた。